

青少年交流事業に参加しました！ 韓国・坡州市派遣職員 鄭 燦龍

佐世保市に来て8カ月が経ちました。その間、観光や産業などに関する研修を受けたり、坡州市との交流事業に携わったりしてきました。中でも印象に残っているのは、8月に実施された佐世保市と坡州市の青少年交流事業に、生徒を引率して行ったことです。

この事業では、両市の中学生各4人が2人1組になり、相互の家庭を4泊5日ずつホームステイしました。参加した生徒の皆さんは、初めはお互いに緊張していたようでしたが、言葉の壁を越えて日に日に打ち解けていく様子を間近に見て、私も感動しました。

また、坡州市では、朝鮮戦争の時に破壊された列車や、展望台から見える北朝鮮側を真剣に見学する生徒たちの姿を見て、平和について改めて考える機会となりました。

今回の青少年交流事業では、生徒の皆さんだけでなく、受け入れてくださったご家族や学校の皆さんも貴重な経験をされ、国際的な視野を広げられたことと思います。佐世保での任期もあと4カ月ですが、残りの期間も、佐世保市と坡州市の交流に貢献できるよう努力していきたいと思っています。

国際政策課 ☎24-1111



(上)生徒に韓国語を教える鄭さん  
(中)破壊された列車などが展示される坡州市の平和安保観光地  
(下)北朝鮮を望む統一展望台

市長日記 市民協働のまちづくりの原点は町内会活動

市民や市民団体の皆さんが行政と協力してさまざまな事業を展開する「市民協働」。近年、テレビや新聞などでも報道され、注目されるようになりました。

この市民協働の担い手は「目的型」と「地縁型」に分類されるといいます。目的型は日常生活圏にあまりとらわれることなく、福祉や環境、教育など特定の目的の実現を目指して活動するNPO法人やボランティア団体などです。一方、地縁型は住んでいる地域に根ざした活動団体で、その最たるものが町内会等と言えます。市民協働という何か新しいもののように感じますが、地縁型の取り組みである町内会活動は以前からあり、行政との関係も大変長い歴史があります。

昨今、「地域コミュニティ」が希薄になりつつあり、「地域の絆」が弱くなっているのではないかと危惧されています。今こそ市民協働で町内会等を活性化させ、市民と行政が協力して「自分たちのまちづくり」を進める時ではないでしょうか。「向こう三軒両隣」「遠くの親戚より近くの他人」という昔から言い尽くされた言葉を今一度かみしめながら「我がまち、我が佐世保づくり」を進める時であると思います。

今、佐世保市では地域コミュニティの再生を目指して、町内会等の活性化、組織や事業のあり方、役



テレビ番組「キラっ都させぼ」で地域コミュニティ推進事業を説明する朝長市長(左)

員の負担軽減などについて、モデル地区を選定し検証を始めました。この検証を基に「町内会のモデル」「新たな地域団体としての地区自治協議会のモデル」を作りますので、それぞれの町内会や地区自治協議会づくりなどの参考にしていただきたいと思います。平成25、26年度はモデル4地区での検証を進め、平成27年度から順次各地区での本格実施に入っていたきたいと思います。

市民協働のまちづくりの原点は「町内会等の活動」ということを再度認識していただき、「明るい、豊かな、安全・安心なまち、佐世保」を創っていくために、市民と行政、市民と市民が連携していくことができれば、素晴らしいまちになることを確信しています。

佐世保市長 朝長 則男

させぼ市政だより キラっ都させぼ

佐世保の心を未来に伝えたい 市民憲章と佐世保市歌

市制施行111周年の記念すべき年に、新たに制定された市民憲章と、市民の皆さんに歌い継がれている佐世保市歌を朝長市長が紹介します。

放送予定日	放送時間(放送局)
11月 2日(土)	9:25(NBC) 11:40(KTN)
11月 9日(土)	9:25(NIB) 11:40(NCC)
11月16日(土)	9:25(NBC) 11:40(KTN)
11月23日(土)	9:25(NIB) 11:40(NCC)
毎週日曜	18:55(テレビ佐世保)



10月放送「ブランド化産品」収録の様子。市ホームページで視聴できます。

人の動き 10月1日 現在

- 総人口 256,776人(-16人)  
男性 120,380人(-7人)  
女性 136,396人(-9人)
- 世帯数 105,704世帯(+50世帯)  
※9月中の動き  
転入 580人、転出 542人  
出生 210人、死亡 264人

させぼ市政だより

- テレビ(毎週土曜)  
NBC・NIB→9時25分~30分  
KTN・NCC→11時40分~45分
- ラジオ  
NBC 日曜 9時25分~30分  
FM長崎 火曜 9時5分~10分  
FMさせぼ 火曜10時30分~35分  
日曜 9時30分~35分
- 新聞 長崎新聞 毎月第2・4火曜
- ホームページ  
<http://www.city.sasebo.nagasaki.jp/>



携帯サイト

秘書課 ☎24-1111

徳育通信 ⑳ おもてなしの心で臨んだ総文祭!

7月に長崎県で開催された「しおかぜ総文祭」(全国高等学校総合文化祭)で、私が委員長を務めた合唱部門は「歌の輪で日本を一つにしたい」という思いから、それぞれの都道府県の紹介や歌を交えながらリレー形式で行う「歌マップ」という企画に取り組みました。また、佐世保の素晴らしさを全国の皆さんに知っていただきたいと強く思っていたので、長崎県合同合唱団では「西海讃歌」を披露しました。歌い終えた後の観客の皆さんからの鳴り止まない拍手は今も忘れられません。

私は合唱部門を開催した2日間、来県してくださったたくさんの方々に「佐世保が大好きになりました」と声を掛けていただきました。「自分たちが大好きなふるさとを来県された方々にも大好きになっ

てもらいたい」という私たちの思いが、あいさつや笑顔など私たちの精一杯のおもてなしを通じて伝わったのだと大変うれしく思っています。

総文祭を通して、本校の一徳運動のテーマである「感謝の心であいさつしよう」を実践することができました。多くの人に出会い、共に泣き、笑い、悩み、たくさんの経験をしたその全てが今の私の糧になっています。ご協力いただきました佐世保市民の皆さん、本当にありがとうございました。

聖和女子学院高等学校3年 花田 桃子



この徳育通信を切り抜いてノートに貼り、「徳育ノート」として家庭で保管しましょう!